

令和 5 年度

教育活動報告書(5月版)



長野県上田千曲高等学校

全日制 メカニカル工学科 電気科 建築科 商業科 生活福祉科 食物栄養科

定時制 機械科

令和5年5月報告用

信州 P-tech 事業スタートアップ講演会

【メカニカル工学科1年】 令和4年11月



税に関する高校生の作文表彰【商業科】

12月



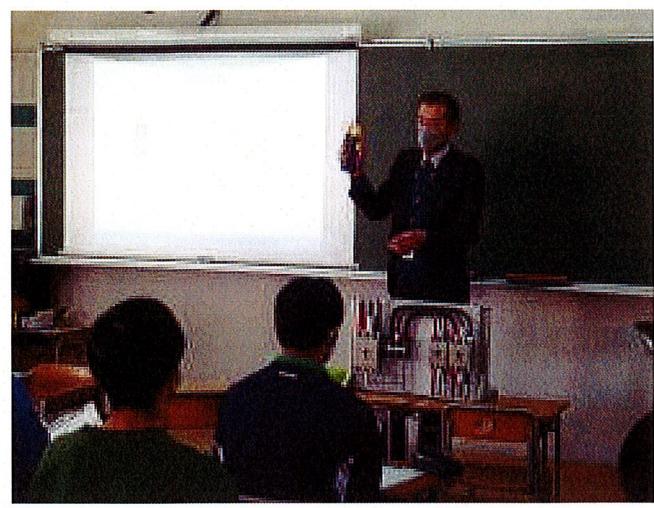
1・2年生企業説明会【建築科】

12月



地域企業から知的財産を学ぶ

【メカニカル工学科2年】 11月



上田信用金庫との連携・本店見学会・説明会【商業科】

12月



ガス溶接技能講習会【メカニカル工学科・電気科】

12月



令和4年度活動発表会

1月24日（火）および25日（水）



各種料理コンクールに応募

複数の生徒が入賞【食物栄養科】



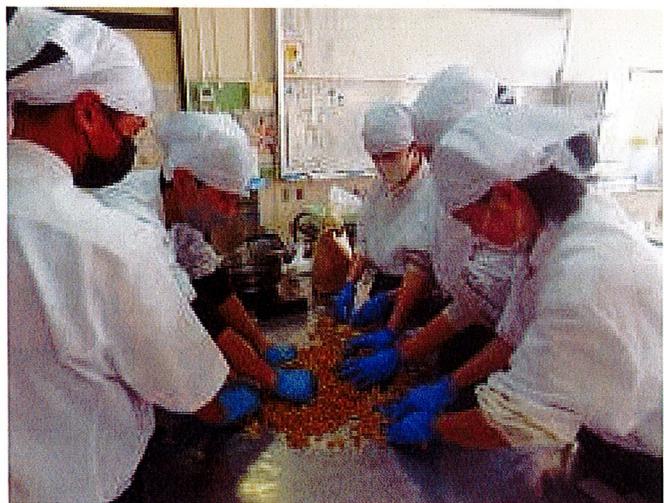
長野県社会福祉協議会による講演会

【メカニカル工学科】2月8日（水）・10日（金）



地元の食のスペシャリストを講師に招き実習

食物栄養科1年生 2月3日



2月10日



上田市 SDG s スタートアップシンポジウム
2月 18 日(土) 【SDGs 同好会】



企業探究コース 「コーポレートアクセス」部門
全国大会出場 2月 18 日(土) 【商業科】



信金出前授業「インプット＆アウトプットで学ぶビジネスマナー」受講 2月 13 日（月） 【商業科】



地域貢献活動として「千曲川クリーン活動」
3月 4 日 (土) 【SDG s 同好会】

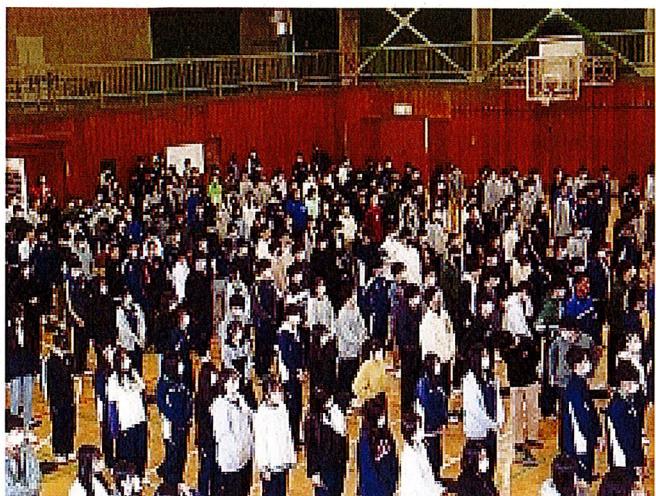


令和 4 年度 卒業証書授与式
令和 5 年 3 月 3 日



令和5年度 新任式・1学期始業式

4月5日（水）



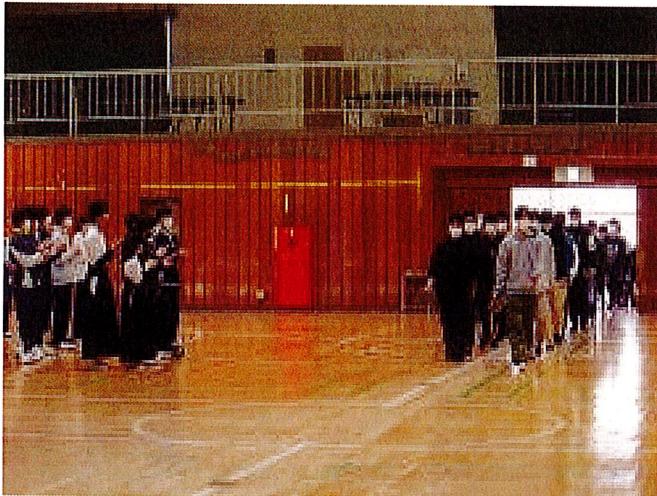
令和5年度入学式

4月6日（木）



新入生歓迎会・クラブ紹介

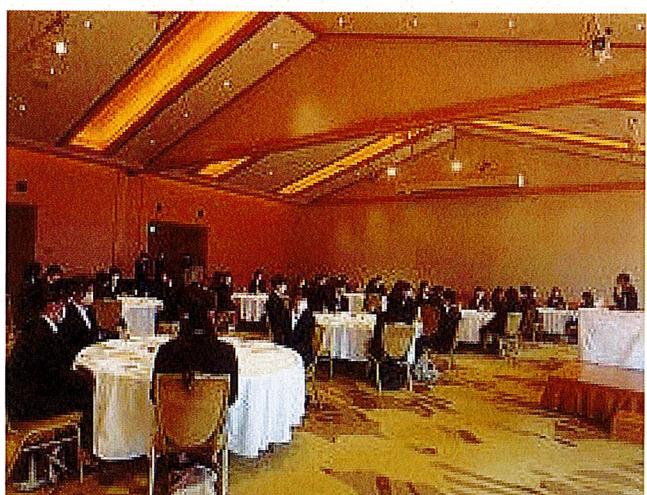
4月10日（月）



令和4年度 全国福祉高等学校長会 北信越地区
生徒体験作文発表 表彰式【生活福祉科】4月19日(水)



食物栄養科3年 校外研修「テーブルマナー」
4月27日（木）



食物栄養科3年 特別授業①「発酵って何だろう？」
5月2日（火）



「いっしょに読もう！新聞コンクール」

興味関心を広げる契機に

信濃毎日新聞 2022年（令和4年）12月13日

上田千曲高校では、夏休み中の社会科の課題として全校約40人がコンクールに取り組んだ。社会科の若林寿輝教諭（34）は、「語彙や文章の形、現代社会の話題など、新聞にはさまざまなお要素が詰まっている」と話す。

興味関心を広げる契機に

上田千曲高

1年生の「公民」の授業では2、3週間に1回、新聞記事を

スクラップしている。それぞれ気になる記事を切り抜いてノートに貼り、感想を書き込む。若林教諭は「生徒がループ内で回して互いに意見を

年頃の授業でも新聞記事を活用する。

県が「発酵レシピコンテスト」

「信州たっぷり野沢菜せんべい」

上田千曲高の山口さん準グランプリ

東信ジャーナル 2022年（令和4年）12月15日

県が「発酵レシピコンテスト」

上田千曲高の山口さん準グランプリ

長野県は、県内産の発酵食品・加工食品を活用した新たな食習慣発掘のため「発酵レシピコンテスト」を先月行つた。準グランプリ、優秀賞に上田千曲高生が入賞した。

コンテストは、長野県を代表する味噌や甘酒、漬け物などの発酵食品と、凍り

豆腐やジャム類、川魚や甘酒など加工食品をそれぞれ1品以上使ったおかずやデザート、おつまみなどの副菜レシピをつくるもの。今

年7月から9月に募集を行い、応募43作品から書類審査を通過した4作品を試食。長野県調理師会長の湯本忠仁

さんら5人が審査した。準グランプリは筒井久

美子さんの「あまいよつばい！」。筒井さんは、「酒粕とクリームチー

年7月から9月に募集を行い、応募43作品から書類審査を通過した4作品を試食。長野県調理師会長の湯本忠仁さんら5人が審査した。準グランプリは上田千曲高3年、山口華凜さん、「信州たっぷり野沢菜せんべい」。野沢菜漬けやチーズ、甘酒干しめじ、七味唐辛子などを使用。二郎せんべいや、韓国料理を参考にしたといつ。

千曲高3年、山口華凜さんの「信州たっぷり野沢菜せんべい」。野沢菜漬けやチーズ、甘酒干しめじ、七味唐辛子などを使用。二郎せんべいや、韓国料理を参考にしたといつ。

千曲高3年、山口華凜さんの「信州たっぷり野沢菜せんべい」。野沢菜漬けやチーズ、甘酒干しめじ、七味唐辛子などを使用。二郎せんべいや、韓国料理を参考にしたといつ。

千曲高3年、山口華凜さんの「信州たっぷり野沢菜せんべい」。野沢菜漬けやチーズ、甘酒干しめじ、七味唐辛子などを使用。二郎せんべいや、韓国料理を参考にしたといつ。

（株）魚国総本社が名古屋本部長野事業部の栄養士の筒井さんとして受賞を紹介している。

（株）魚国総本社が名古屋本部長野事業部の栄養士の筒井さんとして受賞を紹介している。

（株）魚国総本社が名古屋本部長野事業部の栄養士の筒井さんとして受賞を紹介している。

（株）魚国総本社が名古屋本部長野事業部の栄養士の筒井さんとして受賞を紹介している。

（株）魚国総本社が名古屋本部長野事業部の栄養士の筒井さんとして受賞を紹介している。

上田千曲高生 市内に作品展示 制作没頭 願い込めたこいのぼり

信濃毎日新聞 2023年(令和5年)5月9日(火)

制作没頭 願い込めたこいのぼり



イオンスタイル上田に展示された「鯉タンブル」

上田千曲高校(上田市)で
美術を選択する1年生による
こいのぼりをモチーフにした
作品が、上田市のイオンスタ
イル上田と市観光会館に展示

されている。新型コロナウイ
ルスの流行が落ち着き、社会
が活気を取り戻せるようになり
て願いを込め、月中旬まで
飾る。

上田千曲高生 市内に作品展示

約120人がそれぞれ授業
で取り組んだ。簡単な模様を
繰り返し描いて画面を埋めて
いく「ゼンタングル」の手法
で制作。「ゼン」は仏教の「禪」
から取っており、作業に没頭
することで心を落ち着かせる
効果もあるという。手法の名
をもじり、作品名は「鯉タン
グル」とした。

生徒たちは、長さ約20cmの
小さなこいのぼりに線を引い
たり塗りつぶしたりして模様
を描いた。一人一人の作品を、
プラスチック板で作った大き
なこいのぼりのうろこに見立
て配置している。

水沼穂乃華さん(15)は「細

かく描き込むことだけを考え、それ以外は無意識に描いた」とし、「きれいに仕上がる」と出来栄えに満足そうだ

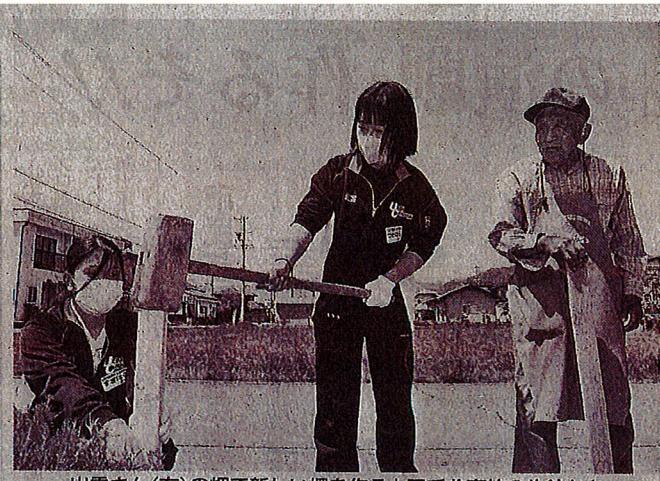
った。美術科の臼井亮教諭(53)は「元気なこいのぼりの姿を見て、社会生活を明るく

飾る。」と語っている。

上田千曲高生 福祉の学び実践 レンタル高校生 高齢者お助け

信濃毎日新聞 2023年(令和5年)5月11日(木)

レンタル高校生 高齢者お助け



出雲さん(右)の畠で新しい柵を作る上田千曲高校の生徒たち

上田千曲高生 福祉の学び実践

上田市の中条の出雲佐成さん(77)宅を訪ねた4人は、出雲さんの要望を受けて、近くの畠で古くなった柵を作り直しました。最初は緊張していたものの、出雲さんがやる真似の使い方を教わったり、生徒同士で相談したりしながら1時間ほどで仕上げた。出雲さんは「柵がきれいになつた。来てくれて良かった」と喜んでいた。

同市中条の花明始さん(77)宅を訪ねた4人は、花明始さんは「作業療法士の業務は訪問活動が多い。実践的な学びができた」と話していた。

生徒たちは1年間かけて課題研究に取り組む。各グループは今回の訪問先などで学んだことを基に地域の課題を探っていく。

上田市の中条の花明始さん(77)宅を訪ねた4人は、花明始さんは「作業療法士の業務は訪問活動が多い。実践的な学びができた」と話していた。同市中条の花明始さんは「作業療法士を自指しているという竹生徒たちは5グループに分かれ、地域の高齢者の困り事や要望に応える初の「レンタル高校生プロジェクト」に取り組んだ。福祉に関する学びを深める一環として紹介された「人暮らしなどの高齢者宅を訪問した。

信州P-TECHのスタートアップ講話

上田千曲高メカニカル工学科 40名参加

信濃毎日新聞 2023年(令和5年)5月13日(土)



信州P-TECH スタートアップ講話

信州P-TECHの取組と先端技術

P-TECHの取組と先端技術もたらす未来

上田千曲高メカニカル工学科 40人参加
上田千曲高校メカニカル工学科 1年生40人を対象にこのほど、信州P-TECH(ピーテック)のスタートアップ講話が

上田市下之郷の県工科短大で行われた。信州P-TECHは、IBMが米国で始めた5年間の教育モデル。県内で初めて昨年9月、千曲高校と工科短大を実施校としてスタートした。産業

界が必要とする、ものづくりの情報技術を有する人材を高校・短大での過程に加え、地域の企業が関わって育てる。佐貫さんは『P

信州P-TECHのスタートアップ講話

上田市内

TECHの取組と先端技術がもたらす未来』をテーマに、コンピュータを含むIT、AI技術の進化の様子を様々な例を挙げながら説明。米アラン・ケイ博士の言葉『未だ』を引用し、「ぜひとも未来を自分たちの手で作つてほしい」と伝える。

そして大切なこととして『なぜ?』を楽しむ』(課題を見つける力による、『学び続ける』失敗からも多くの学びがある)、『人ととのつながり』(さらに大きな力になる)の3つを挙げ、「人とのつながりを信じ、学校をP-TECHを楽しんでください」と結んだ。

本アイ・ビーエム(株)連携し、高校や短大へ講師の派遣など様々な支援をするコンソーシアム参加企業13社のうち、アス

ザック(株)(上高井郡高山村)、上田プラスチック(上田市)、㈱ズー(同)、日置電機(同)、㈱綿谷製作所(同)の5社が

企業紹介。演壇の大きなスクリーンを使い、わかりやすく自社の扱い品目や利点などを紹介した。

里で貰い物したお母さんには、「黒糖くるみ」をプレゼントする。売店では午前10時~100袋

駅・雷電くるみの里(東御市滋野乙「道の駅・雷電くるみの里」)は14日(日)、母の日イベントを行う。日ごろの感謝を込め、雷電くるみの

150袋を用意(なくなり次第終了)。問い合わせは雷電くるみの里(0963-10963)へ。

63